

●白馬村オリンピック記念館の指定管理者の指定について

平成23年3月まで白馬村観光局に指定していたが、同一敷地内にあること、維持管理運営を行ううえで一体的に管理ができることから、ひき続き観光局に指定管理者として非公募で指定した。

期間は平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間で、建物の償還期間と借地期間の終了にあわせたもの。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●村営住宅管理条例の一部を改正する条例について

地域主権改革一括法による、公営住宅法の改正に伴うもので、単身入居も可能とする幅広い入居者募集を行うこととするために、今回の条例改正を行うことにした。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●白馬村一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4929

万8千円を減額し、総額を歳入歳出予算それぞれ45億6894万3千円とするもの。

環境課では、塵芥処理事業が755万5千円減額で、内容は塵芥処理委託料209万9千円減（粗大ごみ集積場予算の不要額を減額するもの）、白馬山麓環境施設組合負担金363万6千円減、ごみ集積場設置補助金175万9千円の減。クリーンコスモのし尿処理事業が521万4千円の減。

観光農政課では、観光局負担金240万円減額（職員退職）、観光振興負担金30万円の増額（商工会の元気づくり支援金の負担金）、海外観光客受け皿整備事業134万4千円減額。商工振興費300万円減額（住宅リフォーム補助事業実績による）。現年発生林道施設災害復旧事業は設計変更などで226万7千円減額。

建設水道課では、道路維持補修事業に400万円の増額、除雪事業委託料に2000万円の増額（2月の降雪量が多かったなどによる）、原材料費92万円増額（塩カルなど）、道

路新設改良費1504万円の減額、現年発生公共土木施設災害復旧費311万4千円の減額（青鬼、菅下などの入札差額）。

問 ごみ集積場設置補助金の減額理由は。

答 予定していたほど設置がなかったためです。

問 住宅リフォーム資金補助金は住宅のみの補助か。

答 同一敷地内であれば車庫 土蔵 造園なども対象になります。

問 道路新設改良1504万円減額の内容は。

答 八方口歩道新設が降雪のため約700万円の減工、白馬町の舗装新設用地交渉の未解決などで約800万円。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●下水道事業特別会計補正予算

繰越金の年度未補正するもので、使用料を666万6千円減額し、繰越金を同額増額とする。

▽委員全員の賛成により原案どおり可決すべきものと決定。

●農業集落排水事業特別会計補正予算

繰越金の年度未補正するもので、使用料を10万9千円減額、繰入金金を100万円減額、繰越金を110万9千円増額するもの。

▽委員全員の賛成により原案

どおり可決すべきものと決定。

●水道事業会計補正予算

水道事業収益を520万円減額。内訳として、水道使用料500万円減、資材売却20万円減額。水道事業費用として1072万円の増額。内訳として営業費用の配水及び給水費を203万5千円減額（主に職員給料など）、原価償



指定管理者の指定（冬のグリーンスポーツ）